

事業計画書（実績書）

令和2年2月20日

団体名 綾部もみじまつり実行委員会

事業の目的 （何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記 入してください。）	観光振興事業 海の京都重点エリアである中心市街地の観光と商業活性化につながる 取り組みを行う。
事業の名称	綾部もみじまつり
事業費 （市補助金）	976,998円 (500,000円)
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費 に補助金が充当されるか記入 してください。）	ライトアップ設営費、音楽祭設営費、広報、警備 クイズ（Q&A探訪）実施費
事業実施期日	自 令和元年11月15日 至 令和元年11月17日
事業実施場所	大本本部（綾部市本宮町1番地）およびその界隈の市街地、山家地区
事業の概要 （事業の実施方法、内容につ いて記入してください。）	天気 15日晴 16日晴 17日晴 集客数 15日～17日 計5,000人 (15日500人、16日2,500人、17日2,000人) ライトアップ 15日～17日 竹行灯 15日～17日 お茶席(野点) 16日～17日 462人(202人+260人) 屋台 16日～17日 のべ17店舗(山家荷車市含む) 音楽祭 16日2回、17日2回 計4回開催 計約150名 琴演奏 16日～17日 適宜開催 ガイドツアー 17日 巡回バス3往復 延べ140人(70人往復) Q&A探訪 16日～17日 計33人
補助金の効果（成果） （計画書では期待できる効果 を、実績書では得られた成果 を記入してください。）	市内外から多くの入込客があり、まちの賑わいを創出することに繋が った。3年目となった山家もみじまつりと連携してガイドツアーでは 大勢の参加者があった。16日に山家荷車市が大本会場でも披露さ れ、焼き芋や野菜の販売が行われた。また、大本神苑Q&A探訪で は、子供を中心に探検気分が喜ばれた。おみやげ屋台を苑内に移動し たことで苑内のにぎわいが増した。また、丹陽教会の協力で期間中の 教会外壁ライトアップを実施することができた。広報活動としては、 のぼり、西町の横断幕、看板のほか、あやべ市民新聞と京都新聞の記 事、FMいかる11月13日の生放送で委員長がPRを行った。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和2年2月20日

団体名 綾部もみじまつり実行委員会

（単位 円）

	区分	予算額	収入済額	明細
	収入の部	市補助金	500,000	500,000
協賛金		356,000	376,000	商工会議所,大本,商店街ほか
事業収入		50,000	17,000	出店者ほか
雑収入		114,000	88,664	市民からの協力金ほか
繰越金		80,000	166,619	前年度繰越
合計		1,100,000	1,148,283	
	区分	予算額	支出済額	明細
	支出の部	広報費	350,000	196,185
事業費		700,000	730,648	会場設営、警備、音楽祭、
事務費		50,000	50,165	看板、ツアー、Q&A探訪
				印刷、通信運搬費、消耗品 ほか
	合計	1,100,000	976,998	
差引		0	171,285	